

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五  
藤枝市藤枝四一七  
大慶寺 大場正昭  
FaxTel 〇五四-六四一-二二九  
〇五四-六四四-六二六  
ohba@nmyozan.org

平成30年 星除け祈祷受付開始  
● 厄年除け (数え年)

・ 男 25才、42才、61才

・ 女 19才、33才、37才、61才

● 星除け 平成30年 星まわりの悪い人

● 八方塞がり除け 平成30年 九紫火星の人

昭和12年、21年、30年、39年、48年

57年、平成3年、12年、平成21年生

● 家内安全 進学成就 身体健全 交通安全等

※ 切りは節分の2月3日です。

古いお札を納めましょう 2月3日まで

古いお札を納める箱を本堂前に設置してあります。大慶寺以外の神社仏閣のお札も納めることが出来ます。また、ご遠方の方はご郵送下さい。

沼津市の佐々木盛英様、藤枝市の杉原稔様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。ここに篤くお礼申し上げ、法話箋作りの資とさせて頂きます。

平成30年を迎えて

平成30年、戊戌（つちのえ いぬ）、九紫火星の新春。皆さんも元氣でお正月をお過ごしのことと拝察する。本年も相変わらず宜しくお願い申し上げる次第。

私事ながら、今年の4月で65歳。年金を頂く年になった。目がおかしい、腰が痛い等々、体のあちこちから不調のサインが届く。同級生は定年退職し、一線を退いたとの報もよく頂く。

当方は、坊さんとして命を戴いている身。住職である限り定年はない。寺の運営での責任も当然生じる。こんな状況下、残り少ない人生をどのように生きるべきかと最近考えさせられる。

優雅に泳いでいるように見えるけど、水中では絶えず足をかいているのよ。

宗祖は61歳でお亡くなりになった。してみるとそれ以上の命を今頂いているのだから、サッカーというアデイショナルタイムのような時間かもしれない。そうなると、これからの人生は、今まで頂いた数々の恩に報いる生き方が求められるのではないかと思う。

第一線を退いた年配者の仕事は無いように

感じるかもしれないが、ベクトルを変えればいくらでもあることに気づく。特に社会や地域への貢献、更に檀信徒各位への貢献だ。

目指すはアヒルの足。



「楽から楽は生まれない」。今ある自分は、多くの人々の支えや理解があつてこそ。アヒルの足こそ求める姿。いつまでも足をかき続けよう。そこに必要なのは、大いなる好奇心、大いなる感動。これこそ活動の

エネルギー源だ。年々時の流れが速くなり、どのように変化していくのか誰もわからない。その中で、どのように生きるかは、その人の経験やとりまく環境、状況によって様々だ。新春を迎え、報恩行、即ち貢献行に徹したいと思う。